

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈小・社会〉

特別研修員 社会 樋口 晃 (小学校教諭)

単元名 『米づくりのさかんな地域』 (第5学年) 全9時間計画

## 単元のねらい

我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解するとともに、食料生産に携わる人々が生産性や品質を高めるために努力していることを理解できるようにする。

## 単元構想の意図

本単元では、我が国の食料生産は自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていること、その生産に関わる人々が、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解させていきます。「つかむ」過程で「単元の課題」を設定し、その課題を解決するための学習計画を立てさせます。「追究する」過程では、調べた事実を基にした児童一人一人の考えを共有し合い深めさせます。「まとめる」過程では、追究の過程で理解してきた内容を総括して「単元の課題」に対する結論を導き出せるように構成しました。

過程

つかむ (2)

追究する (6)

まとめる (1)

### 主な学習活動

#### 1. 単元の課題を把握する

○米づくりに関する児童の既有的知識やイメージとずれを感じさせられるような資料から「なぜ」「どうして」といった疑問をもたせる。

○そのずれから生まれた疑問を基に「単元の課題」を立てる。

〈庄内平野航空写真〉



〈米の都道府県別収穫量(水稲)〉

都道府県	作付面積 (ヘクタール)	10アール あたりの収穫量 (キログラム)	総収穫量 (トン)
北海道	103,900	560	581,800
秋田	86,900	574	498,800
山形	64,500	598	385,700
茨城	68,100	525	357,500
新潟	116,300	526	611,700

(平成29年 農林水産省)

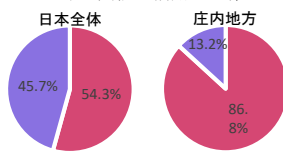
庄内平野では、なぜ米がたくさんつくれるのだろうか。

#### 2. 「単元の課題」の解決に向けて、単位時間ごとに追究する

##### ①地形や気候の特色を調べる。

一目で田んぼがたくさんある

グラフや地図帳を活用し正確に！



水を得やすく平らな土地が広がっている！

##### ②～⑤様々な工夫や努力していることを調べる。



##### ⑥後継者不足などの課題にもふれ農業全体に視野を広げる。

#### 3. 「単元の課題」についてまとめる

○追究の過程で理解してきた米づくりに関する社会的事象を基に単元全体の学習を振り返りながら、食料生産に関わるまとめをし、文で表現する。何が分かったか、どのようにして分かったかなど「単元の課題」に対する振り返りも行う。

### 指導のポイント

#### 単元のゴールに向かうつながりのある授業展開

本単元で身に付けさせたい資質・能力を明確にし、その力を付けさせるために、一単位時間ごとにどのような授業展開をすればよいかを逆算して構想をする。単元全体が相互に関わり合い「単元の課題」に対する結論を導き出せるようにする。

#### 単元への興味・関心をもたせる

自分が住む地域と庄内平野の写真の比較から自分が住む地域との違いに気付かせたり、作付面積の広さと総収穫量の関係と10アール当たりの収穫量の関係に目を向けさせたりすることで、山形(庄内)の米づくりについて疑問をもたせる。

#### 単元の課題への意識・学びの見通しをもたせる

児童が自分たちで立てた学習計画を教室に掲示しておくことで、いつでも単元の課題や学びの見通しを確認できるようにする。学習計画に沿って問題解決的な学習に取り組ませることで主体的に課題を解決できるようにする。

庄内平野では、なぜ米がたくさんつくれるのだろうか。

単元の課題を解決するための学習計画

①	②	③	④
地形や気候などの特色	農家の人の工夫	農家の人たちの協力	農家を支える人たちの取組
⑤	庄内の米が私たちにどくまで	!	まとめ

こんな物を持って調べれば良さそう！！  
学習者、資料、学習環境、指導者など、授業で必要なものを整理して置くこと(1)

#### 資料の見方、資料活用の視点を共有させる

図表のタイトルを確認すること、特徴的な数値はどれか、どのような変化があるかなど、資料の見方の基礎を全体で共有することで全児童が迷わず追究の活動に取り組めるようにする。

#### 児童の思考をつなげさせる

一単位時間ごとの学びを関連付け、単元全体を通して「単元の課題」の結論に向かわせる。

#### 米づくりで学んだことを基に視野を広げ考察させる

庄内平野の米づくりで学んだ工夫や努力、抱える課題などが、他地域や、米づくり以外の野菜や果物の栽培にも当てはまることを新聞記事等を使い知ることで一般化させる。(本実践では学習計画⑥)

#### 単元全体のまとめ・振り返りをさせる

追究の過程で使用した資料を1枚のワークシートにまとめ、児童の考えをまとめやすくする。児童の「単元の課題」に対する結論を発表させ、教師がコーディネーターとなり端的に分かりやすく文でまとめる。振り返りの視点を与え自分の生活と関連付け振り返りができるようにする。

指導例：『米づくりのさかんな地域』（第5学年 第1時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○学習スタイルを振り返り、単元の課題を立てることを確認する。

T：今日から新しい学習になります。単元の始まりにはいつも何をしていますか？

S：「単元の課題」を立てています。

T：そうですね、資料を見て気付いたことや疑問に思ったことを基に「単元の課題」を立てましょう。

〈めあて〉 資料から読み取ったことや比較して気付いたことを基に、単元の課題を立てよう。

「めあて」の設定

○「単元の課題」を立て、その課題を解決するために何を調べればよいか考え、実際に調べていくといった学習スタイルを日頃の授業から身に付けさせておく。

2 本単元の社会的事象に関わる資料を基に、一人一人が疑問や調べたいことを考える。

○藤岡市と庄内平野の航空写真、米の都道府県別の生産量を表すグラフや地図帳の統計資料から共通点や違いを読み取る。

○資料を見たり比較したりして得た情報と既知の知識を関連付け、気付いたことや疑問に思ったことを記述、発表する。

T：資料から、どんなことが読み取れましたか？

S：写真を比べると、同じ日本なのにとっても違います。庄内平野は緑が多いです。

S：都道府県別の米の生産量を見ると山形は米の生産量が多いから、田んぼが広がっているのだと思います。

S：庄内平野の米の生産量は全国で5位だし、たくさん米をつくっていることが分かります。

S：10アール当たりの収穫量を見ると、生産量が1位になっています。



課題意識が高まる資料

○資料を比較させることで地域ごとの特色や違いに気付けるようにする。

○米の生産量のグラフからは生産量だけ見ると山形（庄内）は全国で5位の生産量であるが、単位あたりの生産量では一番多いことに、疑問をもったり、驚きを感じたりできるようにする。

米の都道府県別生産量（上位5位）

都道府県	作付面積 (ヘクタール)	10アール あたりの収穫量 (キログラム)	総収穫量 (トン)
北海道	103,900	560	581,800
秋田	86,900	574	498,800
山形	64,500	598	385,700
茨城	68,100	525	357,500
新潟	116,300	526	611,700

（平成29年 農林水産省）

3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの焦点化を図る。

○気付いたことや疑問に思ったことを発表する。

T：どんなことに気付きましたか？

S：山形（庄内）は、米の生産量が全国で5位でたくさんつくっていることが分かりました。

S：ただたくさんつくっているだけでなく、他のところよりも米をより多くつくられています。

S：なぜ、そんなふうに見えるのか疑問に思いました。

全体での共有・焦点化

○児童一人一人の気付きや疑問を発表させ、クラス全体で共有し焦点化する。クラス全体が同じ意識で課題解決に向かえるようにする。

4 本時のまとめ・振り返りをする。

○「単元の課題」を考え文章で表現する。

T：みんなはどんなことに一番疑問をもちましたか？それをポイントにしてクラス全体で「単元の課題」を立てましょう。

S：米が他よりもたくさんつくれること・・・

S：なぜ、たくさんつくれるのかな。たくさんつくれる理由は・・・？

【単元の課題】 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくれるのだろうか。

まとめについて

○児童の言葉を基に、クラス全体で「単元の課題」を立てる。

○本時の振り返りをするよう促す。

S：なぜ他のところよりも米がたくさんつくれるのか気になりました。

S：どんなふうに調べれば分かるか、何を調べればよいか考えておこう。

振り返りについて

○振り返りをするとともに次時への見通しをもたせることで、主体的に活動しようとする意識をもたせられるようにする。

指導例：『米づくりのさかんな地域』(第5学年 第8時)

指導のポイント

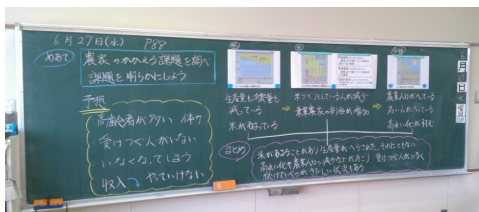
- 1 本時のめあてをつかむ。  
 学習計画表を基に、これまで学んできた米をたくさんつくれる要因を確認する。  
 庄内平野の米づくり農家には課題がないか予想し、本時のめあてを設定する。  
 T：これまで米がたくさんつくれる要因を多く学んできましたが、庄内平野の米づくり農家には困っていることはないのでしょうか？  
 S：きっと何か困っていることがあると思います。  
 T：どうすれば、困っていることが分かるでしょうか？  
 S：今までみたいに資料から調べれば分かると思います。

**めあて 米づくり農家の抱える課題を資料から読み取り、明らかにしよう**

どんな課題を抱えているか予想する。

- 2 解決に必要な情報を集め、読み取る。  
 教科書の「米の生産量と消費量の変化」、「庄内地方の総農家数と専業農家の割合」、「農業で働く人数の変化」の資料から事実を読み取り、学習プリントに記述する。  
 T：資料からどんなことが読み取れましたか？  
 S：米の消費量が減って、生産量も減っていました。  
 S：専業農家の人が減って、兼業農家の割合が多くなっています。一人一人が読み取った課題に関わる事実をペアで共有し補完・修正する。

- 3 整理した情報を基に考察する。  
 資料から読み取った事実を発表する。  
 T：全体の傾向は読み取れたようだけど、なぜそうなっていると考えますか？  
 S：食生活の変化で、米を食べる量が減っているからだと思います。  
 S：儲からないから農業をする若い人が減っているんだと思います。  
 S：きっと、そのことから農業をする人の高齢化が進んでいます。  
 T：このままだと米づくり農家はようになっていってしまうでしょう。  
 S：収入が減って生きていけなくなってしまうかも・・・  
 S：農業をやっている人の数もどんどん減っているし、続けていくのが難しそう。



- 4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。  
 全体で確認した内容を基に、農家の課題についてクラス全体のまとめをする。

**〔まとめ〕 米が余ることがあり、生産量を減らされてしまった。それにともない、農業人口の減少や高齢化が進み、後継者も少なくなり、続けていくのがきびしい状況にある。**

- 課題を抱えつつも、持続的に食糧供給ができるように、新たな取組や工夫をしていることを資料から読み取る。  
 今後の農業について、自分にできることはないかという視点で振り返る。  
 S：たくさん課題を抱えているけど、米づくり農家の人たちは新たな取組を考えて課題を解決していこうとしていることも分かり今後も米づくりが続けていけそうだと安心しました。  
 S：これからもお米がなくなってしまうことはなさそうです。  
 S：僕たちもお米を大事にして残さず食べていくことも必要だと感じました。

「めあて」の設定

自分たちで作成した学習計画を基に単元全体を振り返り、これまで自分たちが学んできた内容と違う米づくり農家の抱える課題という視点を与え、児童の言葉を基にめあてを設定できるようにする。(本時は指導計画)

単元の課題を解決するための学習計画

①	②	③	④
地形や気候などの特色	農家の人の工夫	農家の人たちの協力	農家を支える人たちの取組
⑤	⑥	⑦	
庄内の米が私たちにとどくまで	!	まとめ	

こんな程を調べて調べは良さそう!!  
 資料集、教科書、地図帳など(はたの葉までの場合)、地理情報、関連する資料がある!インターネットなどで調べて、使えるような資料を利用してかきの取り、ね!

資料活用の視点の明確化  
 地理的な用語の確認

「グラフ名」、「縦軸・横軸」、「グラフの色分け」、「新しい用語」、「全体の傾向」などを全体で確認してから個の活動に移ることで、一人一人が追究できるようにする。

考えたことを話し合う

ポイントとなる部分は確実に板書に残しておく。学習プリントと板書が同じ構図になるようにし、児童の思考が構造化できるようにする。

まとめについて

教師が一方向的にまとめず、児童が資料から読み取った事実や、事実を基に考えた農家の課題を引き出しながら、まとめられるようにする。

振り返りについて

日本の農業が抱える課題に対して、児童が自分の生活にも関わりのあることを意識できるような振り返りの視点を与え振り返らせる。

指導例：『米づくりのさかんな地域』（第5学年 第9時）

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

- 追究する過程で解決してきたことを振り返る。
- 単元全体における本時の位置付けを確認し、「単元の課題」に対してのまとめをする。
- T：庄内平野の米づくりについて調べてきてどんなことが分かりましたか？
- S：米がたくさんつくれるのには、たくさんの理由がありました。
- S：後継者不足など課題もあり大変なことも分かりました。
- T：たくさんのが分かりましたね。それを基に今日は何をしますか？
- S：単元の最後だから「単元の課題」についてのまとめをします。
- T：そうですね。これまで調べてきたこと基に「単元の課題」に対するまとめをしましょう。

〈めあて〉 庄内平野ではなぜ米がたくさんつくれるのか、調べたことを基にまとめよう。

2 学習してきたことを基に、一人一人が「単元の課題」に対する結論を考える。

- 庄内平野で米がたくさんつくれていることを、具体的な事実を基に説明できるように整理し、根拠となる資料も示す。
- 一人一人が「単元の課題」に対する結論を学習プリントに記述し、その結論に至った根拠も示す。

3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。

- 自分の考えた結論を根拠をもって説明する。
- S：平らで広い土地や雪解け水などの豊富な水があることで米がたくさんつくれています。
- T：なるほど。自然に関することですね。付け足しはありますか？
- S：日本海側から温かく乾燥した風が吹くから、病気になりにくく米づくりに役立っています。
- T：これらのことを一言で言うと、つまりどんなことでしょうか。
- S：庄内平野は米づくりに適した自然環境を生かしているから米がたくさんつくれているということです。
- T：米をたくさんつくれるのは自然環境が大きく関わっていいそうですね。自然環境以外にも、庄内平野で米がたくさんつくれる理由がありますか？
- S：共同で作業したり、品種改良をしたり人の工夫もたくさんあってそれも大きく関わっていると思います。
- 発表した内容を基に、全体で妥当性を確認しながら一人一人が考えた結論を共有していく。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（単元全体のまとめ・振り返りをする。）

- 「単元の課題」の結論について話し合ったことを基に、「分かったこと」、「気付いたこと」を振り返る。
- S：自然環境が大きな影響を与えていることが分かりました。
- S：協力し合うことで、時間的にもお金の面でも効率がよくなるのが分かりました。

〔まとめ〕 庄内平野の米づくりは、米づくりに適した自然環境を生かし、農家の人たちや農協など周りの人たちが協力し合うことで課題がありつつも効率的にたくさんの米をつくる事ができている。

- S：たくさんのお苦労や工夫があって米がたくさんつくられていることが分かりました。
- S：お米を食べるときに感謝の気持ちをもったり、残さないようにしたり、大事に食べていきたいと思えます。
- 「単元の課題」を協働的に解決できたことや米づくりと自分の関わりについて考えられたことなどを称賛する。

めあての設定

- 「単元の課題」に対するまとめをする時間なので、「めあて」には「単元の課題」の言葉を使う。
- これまで活用してきた資料が全て載った学習プリントを用意し、児童が手元に置いていつでも資料を確認できるようにする。



児童の考えた結論をつなぐ

- 教師がコーディネーターとなり、児童が発表した結論を全体で共有できるようにする。
- 教師対児童、1対1のやりとりにならないように多くの児童が発言できるようにする。
- 自然、人（農家、農家以外）、もの（機械）を基本的な視点として必ず触れられるようにコーディネートする。

まとめについて

- 「単元の課題」を児童に意識させ、その課題の解決につながるまとめになるように促す。

振り返りについて

- 今後、米を食べるときにどんな気持ちをもてるかを考えさせ、自分の生活との関わりにも目を向けられる振り返りができるようにする。そこから社会に参画する態度にもつなげられるようにする。

# 社会科学学習指導案

平成30年6月 第5学年 指導者 樋口 晃

## I 単元名 米づくりのさかんな地域ー山形県庄内平野ー

## II 学習指導要領上の位置付け

(2) 我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。

(イ) 食料の生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各府の資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。

(イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

## III 目 標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

ア (知識及び技能)

米づくりに関わる地形図や写真、グラフなどの資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることを通して、米づくりに従事する人々が国民の食生活を支えるために、自然環境に適応しながら様々な工夫や努力をしていることを理解している。

イ (思考力、判断力、表現力等)

庄内平野の米づくりについて、米づくりが盛んなことを自然環境や社会的な条件と人々の工夫や努力とを関連させて考え、適切に表現している。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

我が国の米づくりの様子に関心を持ち、問題や予想、学習計画を考え、意欲的に調べている。

## IV 指導計画 ※別紙参照

## V 本時の展開（1／9）

- ねらい 統計資料や写真から読み取ったことを基に、庄内平野における米づくりの特色を考え、単元の課題を立てる活動を通して、庄内平野で米づくりが盛んな理由を追究する意欲をもてるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。（10分）	○藤岡と庄内平野の航空写真や、日本全体と庄内地方の耕地のうちで水田の割合を示すグラフを提示する。 ○庄内平野の米づくりについて学習していくこと、単元の課題を設定することを確認させる。		
めあて 資料からの読み取りや比較を基に、単元の課題を立てよう。			
2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。（15分）	○提示してある航空写真、水田が占める割合のグラフに加え、地図帳の統計資料や米の都道府県別の生産量のグラフを提示する。 ○資料と既存の知識から気付いたことや疑問に思ったことを記述し、発言するよう促す。		
3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。（10分）	○気付いたことや疑問に思ったことを発言するよう促す。 ○発言内容の共通点や相違点を確認したり、その理由を問いかけたりする。		
資料の比較を基に、気付いたことや疑問点を記述したり、発表したりしている。＜記述・発言（1）＞			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）			
単元の課題 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくれるのだろうか。			
○児童の言葉を取り上げながら、単元の課題を児童から引き出せるようにする。 ○クラス全体で確認しながら、まとめの言葉を考えさせる。 ○特に疑問に思ったこと、調べてみたいことは何かという視点を与え振り返りをさせる。			
☆庄内平野では、なんでこんなに米がつくれているのかな。調べてみたいな。			

## V 本時の展開（8／9）

- ねらい 米の生産量や庄内地方の農家数の変化などを示したグラフから読み取ったことを基に、自分の考えを伝え合う活動を通して、農家が抱えている課題を理解できるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<b>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</b> ○米づくりに関する自然条件や人々の工夫や努力といった、米づくりを盛んにしている根拠等、これまで学んできたことを確認させる。 ○庄内の米づくり農家はよいところばかりなのか問いかけ、課題がないか予想させる。			
めあて 農家に関する資料から気付いたことを話し合い、農家が抱える課題を明らかにしよう。			
<b>2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。（12分）</b> ○「米の生産量と消費量の変化」、「庄内地方の総農家数と専業農家の割合」、「農業で働く人数の変化」の資料から事実を読み取りワークシートに記述させる。 ○グラフ名、縦軸・横軸が表すこと、グラフの色分けが表すこと、新しく触れる言葉、割合としての視点などの確認を行い、読み取ったことや気付いたことをワークシートに記述させる。 ○どの資料からどのような事実を読み取ったか、そこから何を考えたかを根拠をもって記述できるようなワークシートを用意する。			
<b>3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。（13分）</b> ○資料から読み取った事実を発表させ、資料ごとに精選して板書する。 ○発表された事実を基に考えられる課題を問い掛け発表させる。 ○提示された資料を基に、農業従事者が減少した要因を説明するよう促す。			
<b>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（15分）</b> ○全体で確認した内容を基に、米づくり農家の抱える課題を一言で発表するよう促す。 ○本時の授業で分かったことや疑問に思ったことを振り返り、ワークシートに記述させる。 ○有名なイチゴを栽培している農家の抱える課題について取り上げた新聞記事を提示し、日本の農業は米づくり農家と同じような課題を抱えていることを確認し一般化させる。			
高齢化や農業人口の減少など、農家の抱える課題について理解している。＜ワークシート・発言（4）＞			
☆農家には高齢化や兼業化、自給化が進み農業に取り組む人が減るなどの課題があるんだね。			

## V 本時の展開（9／9）

- ねらい 単元の課題の解決に向けて調べて得た内容を基に、自分の考えをまとめ、全体で共有する活動を通して、米づくりに携わる人々の工夫や努力を理解できるようにする。

### 2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
<b>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</b> ○これまでの授業で使った資料を掲示しておく。 ○これまで追究の過程で解決してきたことを確認する。 ○ノートやワークシートを振り返らせ、単元全体の学びのつながりを意識してまとめられるように促す。			
めあて 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくれているのか調べたことをもとにまとめよう。			
<b>2 一人一人が、学習してきたことを基に、「単元の課題」に対する結論を考える。（13分）</b> ○庄内平野では米がたくさんつくられていることを、具体的な事実を基に説明できるように整理させる。 ○整理したことを基に、「庄内平野の米づくりについて知らない人に、たくさんの米がつけられていることを説明する」という意識を児童にもたせ、まとめさせる。その際に根拠となる資料も示せるように促す。			
<b>3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。（12分）</b> ○クラス全体に向けて、根拠をもって自分の考えた結論を説明させる。 ○説明した内容の妥当性をクラス全体で確認し、補完・修正させる。			
米づくりに携わる人々の工夫や努力などについて調べて得た事実を基に、思考・判断したことを適切に表現しようとしている。＜記述・発言（2）＞			
<b>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）</b> ○単元の課題に対して「分かったこと」「気付いたこと」を問いかける。 ○児童の発言を整理し、単元全体のまとめをさせる。 ○今後、米を食べるときにどんな思いをもって食べるか考えさせ、自分との関わりにも目を向けられるようにする。 ○「単元の課題」を協同的に解決できたことや、自分との関わりについて考えられたことなどを称賛する。			
☆自然環境が米づくりに適していることや、農家の人たちの工夫や努力、それを支える人たちの協力があり、米づくりが盛んなことが分かった。だから庄内平野の米が全国に出荷され、たくさん食べられているんだね。			



<p>目標</p>	<p>社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>ア （知識及び技能） 米づくりに関わる地形図や写真、グラフなどの資料を活用し、必要な情報を読み取ったり、まとめたりすることを通して、米づくりに従事する人々が国民の食生活を支えるために、自然環境に適応しながら様々な工夫や努力をしていることを理解している。</p> <p>イ （思考力、判断力、表現力等） 庄内平野の米づくりについて、米づくりが盛んなことを自然環境や社会的な条件と人々の工夫や努力とを関連させて考え、適切に表現している。</p> <p>ウ （学びに向かう力、人間性等） 我が国の米づくりの様子に関心を持ち、問題や予想、学習計画を考え、意欲的に調べている。</p>		
<p>評価規準</p>	<p>(1) 我が国の食料生産が、自然条件を生かして営まれていることや、その生産に携わる人々の工夫や努力に関心を持ち、その利点や課題について考えたり調べたりしている。</p> <p>(2) 食料生産に従事する人々の工夫や努力などについて、調べて得た事実をもとに思考・判断したことを適切に表現している。</p> <p>(3) 我が国の食料生産について、地図やグラフ等の資料から、自然・人の努力など多面的な視点を持ち、必要な情報を読み取っている。</p> <p>(4) 我が国の食料生産は自然条件を生かしながら、人々の工夫や努力により安定して供給されていることを理解している。</p>		
<p>過程</p>	<p>時間</p> <p>○ねらい めあて</p>	<p>☆振り返り（意識）</p>	<p>◇評価項目 〈方法（観点）〉</p>
<p>つかむ</p>	<p>1 ○統計資料や写真から読み取ったことを基に、庄内平野における米づくりの特色を考え、単元の課題を立てる活動を通して、庄内平野で米づくりが盛んな理由を追究する意欲をもてるようにする。</p> <p>庄内平野の米づくりについての資料を基に話し合い、単元の課題を立てよう。</p> <p>【単元の課題】 庄内平野では、なぜ米がたくさんつくられているのだろう。</p>	<p>☆庄内平野では、なんでこんなに米がつくられているのかな。調べてみたいな。</p>	<p>◇資料の比較を基に、気付いたことや疑問点を記述したり、発表したりしている。</p> <p>〈記述・発言(1)〉</p>
<p></p>	<p>1 ○単元の課題について予想したことを基に、自分の考えを伝え合い学習計画を立てる活動を通して、単元の課題を解決する意欲をもてるようにする。</p> <p>単元の課題を解決するためには何を調べていけばよいか考えよう。</p>	<p>☆庄内平野で米づくりが盛んな理由は、気候や地形が米づくりに適していたり、農家の人が工夫をしたりしているからだと思うよ。確かめてみよう。</p>	<p>◇単元の課題について予想し、どのようなことを調査すればよいか考え、記述したり、発言したりしている。</p> <p>〈記述・発言(1)〉</p>
<p>追究する</p>	<p>1 ○庄内平野の地形や気候、土地利用について調べたことを基に、自分の考えを伝え合う活動を通して、庄内平野では自然条件を生かして米づくりが営まれていることを理解できるようにする。</p> <p>庄内平野の地形や気候などの特色を調べ、気付いたことを伝え合おう。</p>	<p>☆川が近く、雪解け水も豊富で、季節風や日照時間なども米づくりに適しているね。</p>	<p>◇地図やグラフなどの資料を活用し、庄内平野の気候が米づくりに適していることを理解している。</p> <p>〈記述・発言(4)〉</p>
<p></p>	<p>1 ○米づくり農家の仕事の図を基に、米づくりの流れを調べる活動を通して、米づくり農家の工夫や努力を読み取ることができるようになる。</p> <p>米づくりの流れを調べ、農家の人の工夫や努力を明らかにしよう。</p>	<p>☆米を育てるために、一年を通して様々な仕事をしているんだね。</p>	<p>◇米づくり農家の工夫や努力について、資料から適切に読み取っている。</p> <p>〈記述・発言(3)〉</p>
<p></p>	<p>1 ○用水路・排水路の写真や映像資料、農薬散布や農家の勉強会の写真から調べたことを基に、農家同士の協力内容やその意味について話し合う活動を通して、農家の人々がよりよい米づくりのために共同作業を行っていることを理解できるようにする。</p> <p>農家の人たちは、よりよい米づくりのためにどのように協力をしているのだろう。</p>	<p>☆農家の人たちは、お金を出し合って機械を買ったり、用水路や排水路を共同で使ったりするなど協力して、効率よく、たくさん米をつくれるようにしているんだね。</p>	<p>◇農家は、共同作業や土地の整備、お金を出し合うなどの協力をして、おいしい米をたくさん効率よくつくっていることを理解している。</p> <p>〈記述・発言(4)〉</p>

	1	<p>○ J A や農業試験場に関する資料から読み取ったことを基に、自分の考えを伝え合う活動を通して、農家を支える人たちの取組を理解することができるようにする。</p> <p>農家を支える人たちの取組を調べ、どのようなことをしているか明らかにしよう。</p>	<p>☆ J A が営農指導をしたり、農業試験場が品種改良を研究したりして農家の人々を支えているんだね。</p>	<p>◇ J A や農業試験場などが農家を支える取組をしていることを理解している。 〈記述・発言(4)〉</p>
	1	<p>○米がどのように消費者に届けられるか調べ、生産地から消費地までのつながりを図に表す 活動を通して、庄内平野の米が全国に供給されていることを理解できるようにする。</p> <p>庄内平野の米は、どのように私たちに届けられているのか図に表そう。</p>	<p>☆カントリーエレベーターに 米を集め、鉄道や高速道路 を使い全国に届けているんだね。</p>	<p>◇鉄道やトラックを使って米を輸送し、全国に庄内平野の米が供給されていることを理解している。 〈記述・発言(4)〉</p>
	1	<p>○米の生産量や庄内地方の農家数の変化などを示したグラフから読み取ったことを基に、自分の考えを伝え合う活動を通して、農家が抱えている課題を理解できるようにする。</p> <p>農家の抱える課題を明らかにしよう。</p>	<p>☆農家には、高齢化や兼業化、自給化によって農業に取り組む人が減るなどの課題があるんだね。</p>	<p>◇高齢化や農業人口の減少など、農家の抱える課題について理解している。 〈記述・発言(4)〉</p>
まとめ	1	<p>○単元の課題の解決に向けて調べて得た内容を 基に、自分の考えをまとめ、全体で共有する 活動を通して、米づくりに携わる人々の工夫や努力を理解できるようにする。</p> <p>庄内平野では、なぜ米がたくさんつくられているのか、調べたことを基にまとめよう。</p>	<p>☆自然環境が米づくりに適していることや、農家の人々の工夫や努力、それを支える人たちの協力があって、米づくりが盛んなことが 分かった。だから庄内平野の米が全国に出荷されて、たくさん食べられているんだね。</p>	<p>◇米づくりに携わる人々の工夫や努力などについて調べて得た事実を基に、思考・判断したことを適切に表現している。 〈記述・発言(2)〉</p>